

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔家具〕（経営者） 百貨店（広報担当）	来客数の動き 販売量の動き	・3か月前と比べると客が店に来ており、成約率が上がっている。 ・月を通して天候に恵まれ、来客数が前年を上回って推移し、夏物衣料、雑貨の売上が活発になっている。婦人衣料では春から引き続きコート、ドレスが好調で、紳士衣料ではスーツ、ジャケット等、ビジネス服の買換えの動きが良い。ゴールデンウィークにはカードを保有する優良顧客の来客数が増加し、1都3県以外からの来客数も増えた。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・母の日商戦が好調である。商品構成と見せ方をしっかりと設定したところ、客の反応が昨年と比べて顕著に高く、セットアップでの買上等ねらいどおりの結果を得られた。売る側の意思が明確な企画には反応が高く、漫然とした売場構成には素通りしていく。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・天候、気温共に安定していることも要因であるが、ゴールデンウィークの週から来客数が前年比107%前後で増えており、商品の購買点数も増えている。
		スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・天候が良く行楽商品の動向が良かった。月を通しても昨年度より雨の日が少なく販売量も増え、売上が5%ほど上回っている。
		スーパー（統括）	単価の動き	・同じ商品でも品質の良い高額商品が従来より増えてきている。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・25か月連続で前年比100%以上となっている。
		その他専門店〔雑貨〕（従業員）	単価の動き	・販売量の動きはあまり良くないが、単価の大きいものの動きが目立ち、イベントを仕掛ける度に客が反応する傾向がある。
		高級レストラン（支配人）	単価の動き	・来客数は若干増加している程度だが、単価が3か月前と比べて1人当たり300円ほど上昇している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・企業等の景気が上向きになってきており、少しずつ昼の来客数が増加しているが、夜はまだ動きが少ない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・徐々に多人数の宴会が増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・自治会や企業等、団体客の見積依頼が増えている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・問い合わせの電話の本数が非常に多くなってきており、団体旅行の受注件数も増えてきている。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・中期の仕事の引き合いが増えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・深夜の繁華街からの帰宅はカード利用客、チケット客も多く、前月と同様な仕事内容で、やや良い。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・多チャンネルのケーブルテレビとインターネットのサービスメニューを提供しているが、2つのサービスを同時に加入する人が増えてきている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・前年比で来客数が100%を超している。
		ゴルフ練習場（従業員）	お客様の様子	・練習場の売上、来客数は横ばいであるが、客の様子は明るく、景気の良い雰囲気である。
		競馬場（職員）	販売量の動き	・来客数が増加し、売上也微増している。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・ここにきて再度建設物価の上昇がみられるが、今までの分、少しずつ計画が現実へと移行しつつある。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・個人所得が増加しておらずなかなか成約に結び付かないが、来場者数は増加している。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは天候が安定し、来場者数、販売量共に例年並で、最近低迷していた販売量がやや回復してきた。年度末に購入を逃した客がゴールデンウィークに物件購入を決めたケースが多く、来場からやや時間が経っての長期フォローが販売に結びついている。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減ってきており販売動向もかなり慎重で、売上の期待はできない。

一般小売店〔家電〕(経営者)	販売量の動き	・相変わらず商品の動きは鈍いが、設備投資の話があるので、前年と比べると変わらない。
一般小売店〔生花〕(経営者)	お客様の様子	・見に来る客はいても、いざとなると買っていかない。
一般小売店〔衣料・雑貨〕(経営者)	お客様の様子	・気温が高くなり春夏商品の切り替えがうまくいった。売上も昨年並みで、客のニーズに合えば少々金額が高くて売行きは悪くない。
一般小売店〔CD〕(営業担当)	来客数の動き	・来客数、客単価共大きな変化はなく安定している。
一般小売店〔鞆・袋物〕(従業員)	販売量の動き	・ギフト需要は好調で単価が2割アップしている。初夏の商品の動きは厳しいが、夏物の商品の動きが非常に早い。
百貨店(管理担当)	競争相手の様子	・近隣に小売サービス業が出店したが、地域人口が極端に増えているわけではなく、客の取り合いとなり価格競争が激しくなっている。
百貨店(総務担当)	お客様の様子	・購買態度に個人差が大きい、慎重な人が多い。
百貨店(企画担当)	競争相手の様子	・商圏内において多くの商業施設が開業したが、全体として販売量のパイは変わらない。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィークは苦戦するが、中旬以降気温が上昇し、夏物衣料の動きがUV対策関連を含め活発である。来客数は減少しているが、販売量の増加により、前年比プラスで推移している。
百貨店(販売管理担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィークから母の日にかけて、婦人服や雑貨の売上はやや堅調に推移した。3か月前に比べると若干上向き傾向ではあるが、来客数で見ると前年とそれほど変わらない。
スーパー(経営者)	販売量の動き	・連休中は良くなかったが、後半は多少盛り返し、前の月より多少良いがおおむね変わらない。
スーパー(店長)	販売量の動き	・店舗全体で色々なイベントを試み、1点でも多く買ってもらえる様な提案販売を大々的に行ったが、安い商品を1点だけ買って余計なものは買わないという動きが非常に多く見受けられる。
スーパー(店長)	単価の動き	・来客数は前年をクリアしているが、日替わり商品等の価格訴求品のみで購入が多く、客単価が昨年に比べて落ちているため、売上はさほど変わっていない。
スーパー(統括)	来客数の動き	・価格を打ち出した商品に対しては非常に集中して客が集まる傾向にあるが、その他の商品に対しては動きが良くない。
衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・母の日が終わってから自分に褒美の商品を購入する人が例年になく目立ったが、商品をかなり吟味しており、売上点数が伸びない。
衣料品専門店(経営者)	競争相手の様子	・近くに同業店ができたため、少し厳しくなっている。
家電量販店(店長)	単価の動き	・商品の単価が上がってきた。
家電量販店(店員)	単価の動き	・競合店を含み売価がひたすら下がり、家電量販店が全体的に厳しくなっている。
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・自動車整備の方は順調に入ってきているが、販売が芳しくなく、昨年より2割ほどダウンしている。
乗用車販売店(渉外担当)	販売量の動き	・新車販売は予算計画92.2%、前年同月比11.3%の見込みで、月内販売量は前年同月と同水準で推移しているが、中古車販売は予算計画99.0%、前年同月比マイナス10.1%と売り玉不足となっている。
乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・新型車投入により活気を呈し前年をクリアしたものの、目標台数には達しておらず、景気の低迷に横ばいの感がある。
住関連専門店(統括)	販売量の動き	・来客数の動きはあるが、それに伴った販売量の動きが見られない。
一般レストラン(店長)	競争相手の様子	・オフィスビルの地下に入っている飲食店では、2~3か月前に比べ全体的に客が増えている感じはない。
スナック(経営者)	来客数の動き	・例年になく客の数が少ない。
都市型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・少しずつ景気回復の兆しがあるものの、まだまだ単価が上がらず売上が伸び悩んでいる。

		タクシー（団体役員）	お客様の様子	・天候に左右されるところもあるが、深夜の時間帯繁華街における空車の多さが目立っており、駅構内営業でも待機時間が長く感じた。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・顧客加入は安定し、I P電話は好調である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・インターネットや電話は好調だが、ケーブルテレビの新規獲得が厳しい状況である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・デジタル放送への変更や関連サービス等への各種問い合わせが増え忙しくなっているが、契約件数は芳しくない。
		ゴルフ場（支配人）	販売量の動き	・割引料金の期間中は来客数が多いが、通常料金に戻ったら客足が鈍くなった。
		パチンコ店（経営者）	競争相手の様子	・当店も競合店も、来客数の大きな変化がない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・依然として中小企業、零細企業は壊滅状態で、町場の景気はほとんど変わりが無い。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前と比べ販売量は同じくらいだが、その中でも土地分譲販売が増えている。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	競争相手の様子	・近隣にディスカウント的な食品スーパーが開店し、非常に価格が安いので客が流れてしまい、厳しい状況である。
		一般小売店〔靴・履物〕（店長）	来客数の動き	・商店街自体、来客数が減少しており、客単価も低くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・通常夏場に向かって販売量が増えていくが、思ったように増えていない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・数々のセールを実施しているが、前年度実績に到達しておらず、非常に厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・1～2か月前から軒並み来客数が激減している。店によってばらつきはあるが、来客数が増えている店はない。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・普通トラックの需要が前年同月比30%ほど落ち込んでいる。軽油の値段が高止まり、運賃が上がらず、人の確保も出来ず、将来的にトラック需要が落ちていき、この業界についてはますます悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・来客数はわずかながら増え、売上は前年を2～5%超えているが、個人利用はレストラン宿泊共に10円単位のマイナスで消費単価が下がっている。宴会場の売上は、法人利用の単価が相変わらず上がり、前年より下げた料金で前年同様条件での宴会申込を断らざるを得ない場合もあった。不祥事による会合等の中止も影響し、前年を大きく下回って全体の売上を下げている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・大体5月は良くないのだが、それにしても予想より落ちており、3か月前に比べて大分悪くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新規加入、サービス追加契約数が低下している。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・競争相手の入札を見ていると、再び低価格競争に入ってきている。
悪くなっている		商店街（代表者）	それ以外	・近隣に大型ショッピングセンターができ、人が出掛けているが、地域の商店街には足を運ばずにショッピングセンター内で買物、飲食等を済ませてしまうため、来客数、売上が減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・20メートル先のゴルフ場跡地にドラッグストアや100円ショップ、大型ショッピングセンターができ、当分良くなる当てはない。
企業動向関連	良く なっている やや良く なっている	不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注はここ2～3か月間増加しており、供給が追いつかないという状況が続いている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・大手のゼネコンが小規模の工事をしなくなってきている。
	金融業（審査担当）	取引先の様子	・金融機関の基準金利である短期プライムレートが引き上げられたにもかかわらず、企業の資金調達ニーズはおう盛で業務拡大時に発生する増加運転資金が出始めた。	
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	取引先の様子	・作業見積依頼が増えてきている。	

	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・各顧客からの受注量が昨年同時期より10%増加している。
変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少額の商品の動きはあるが、贈答品等の動きがないので変化はない。
	繊維工業（経営者）	それ以外	・衣料品は安い商品が多く、コストを下けた状態で国内での生産が難しく、変わらない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数、売上共に前年同月の目標を3か月間達成している。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・上場企業からの特需があり、問屋からの納品書の納入額において、月の半分相当額が1日で収まるものがあった。しかし全体としては、法人の需要は落ち着いている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・もうけの少ない安物商品がよく売れている反面、利益率の高い高級商品の売行きが減っており、全体として売上は昨年と同じだが利益率は落ちている。
	その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・今年に入ってから、受注、仕事の内容が安定している状況が続いている。
	建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はそこそこ確保出来ているが、受注希望額に及ばず受注しており、原価に対しての受注希望額では、競争が激しく受注できない状態がまだ続いている。
	輸送業（財務・経理担当）	取引先の様子	・大手の文具等を配送しているが、大きな物流の変化がないまま推移している。
	金融業（審査担当）	取引先の様子	・5月より元売が主導でガソリンスタンドの売値が上昇し、重油も追って値上げ見通しであり、業者は不安感を持っている。
	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・駅前の信託銀行系の賃貸マンションは建設後1年半も経過し、全69戸が満室にならないまま8戸退去があった。
	広告代理店（従業員）	それ以外	・5月に給料のベースアップがあるのだが、今回はほとんどアップしなかった。
	社会保険労務士 税理士	取引先の様子 取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社が多く見受けられる。 ・3月決算の中小企業は役員報酬の損金不参入の影響で昨年比で軒並み増税傾向にあり、資金繰りが苦しくなっている。昨年より良くなっている印象は受けるが、3か月前と比べると横ばいである。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	取引先の様子	・先月同様、通信系設備投資の案件に関する引き合いが順調に出始めている。
やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・得意先からの見積りや発注される仕事の量が例年より悪くなっている。
	プラスチック製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一時沈静化していた材料値上げが、ここに来て再燃し始めた。
	プラスチック製品製造業（経営者）	取引先の様子	・当社に限らず、製品の動きが非常に悪いという話をあちこちで聞く。
	非鉄金属製造業（経理担当）	取引先の様子	・当社の大手取引先が減ったことも要因であるが、売上が伸びなかった。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内向けは減産しており、海外向けは動きが少ないが、景況は依然として輸出に頼っている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・予約の注文が少なくなっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・全国からの引き合いが減少して、成約の見通しも悪くなっている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・以前より暇になっているという話が多い。
	建設業（経営者）	取引先の様子	・ここにきて景気が停滞、下降し始めている。
	金融業（支店長）	取引先の様子	・昨今の金利引き上げの影響があり、借入の返済額が増加したということと、売上が若干上がっていても利幅がそれほど上がっておらず、総じて会社関係の取引はやや低調になっており、倒産件数は増えている。

	悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者） 輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き それ以外	・受注がかなり減っている。 ・運送業界全体が非常に悪く、運賃上昇どころか大幅に低下しており経費は着実に増加している。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・社員の不足を派遣社員による嘱託として補っていた金融機関が、近ごろは一步進んで正社員として囲いこみを始めている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員） 学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き 求人数の動き	・求人数が非常に増加している。 ・求人獲得状況が昨年度と比較して10%程度上昇している。
変わらない		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・相変わらず求職者を確保するのに苦慮している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・5月はどの業種も、求人数が変わらない。
		人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・人がいれば出来るだけ採用したいという会社が多く、受注数は相変わらず好調である。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・企業からの依頼内容と、派遣スタッフの時給と仕事内容の希望の隔たりが顕著となってきており、成約数が伸び悩んでいる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求職者数の動き	・大手企業は2～4月上旬まで正社員の雇用があったが、中小企業が相変わらずパートを中心に派遣業務でまかなっており、現状維持のところが多い。中小企業の雇用が多少減少している。
		職業安定所（所長）	雇用形態の様子	・管内の有効求人倍率に大きな変化が見られず、新規求人にも占める派遣、請負の割合にも求人変化がみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が前年同月比で減少している中、請負求人の減少が大きい、中小企業からの求人は増加傾向にある。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人案件は今までどおりあるが、希望に合った人材がいらないということもあるのか、企業側はなかなか採用に踏み込まない。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・求人数、求職者数、転職者数いずれも高位安定で推移しており、退職希望者への引き止めも強くなる等、企業の人材不足感は相変わらず強い。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・5月前半までは、求人票が昨年度より多く届いていたが、企業側の採用時期の早期化からか、それ以降は少なくなっている。
やや悪くなっている		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・予想外に採用が好調な企業も多かったが、3～4月に集中して募集採用活動を行ってきた企業がある程度人員を充足できた結果、やや募集を控えた傾向がある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比19%減少し、特に一般求人が同比32%と大幅に減少し、求人倍率もマイナスに転じた。
	悪くなっている	-	-	-